

るごかせ 町立病院 通信

《2023年春号 No. 70》



オンライン診療の様子を真剣な表情で見つめる2名の実習生。
診療が終わると「すごい！」と感心しきりでした。
宮崎大学医学部1年の井手太陽さんと寺田友哉さん。
お二人は地域医療ガイダンスで2日間当院での研修を受けられました。

《基本理念》

地域の人を愛し、地域から信頼され、愛される病院を目指します

基本方針

- 1 患者さまから信頼される病院を目指します
- 2 患者さまのご意見を尊重します
- 3 患者さまに可能な限りの情報を提供します
- 4 患者さまの自己決定権を尊重します
- 5 患者さまにとって快適な病院を目指します

診療体制について

今年度も、当面の間**午後は休診**となります（整形外科を除く）。また午前中の受付終了時間は、**午前11時まで**となっておりますので、受診される際にはご注意ください。※急患の診療は従来通り行います。

なお、感染対策のため**電話診療による処方箋発行を行っております（定期薬の方のみ）**。

希望される方は、平日午前9時から午前11時までに、町立病院73-5500にお電話にて受付を済ませ、看護師からの折り返しのお電話をお待ちいただきます。詳しいことは、町立病院までお問合せください。

受付 午前11時まで		月	火	水	木	金
午前	外科	崔	崔 熊大消化器外科	崔	崔	崔
	内科	岡崎	岡崎	岡崎 熊大循環器内科	岡崎	岡崎
	整形外科				菊陽台病院 岡	
	耳鼻咽喉科 第2・第4木曜日				高千穂町立病院 甲斐	
午後	整形外科のみ 午後1時から3時まで	休診	休診	休診	菊陽台病院 岡	休診

★都合により休診となる場合は、防災無線等でお知らせします。

★整形外科は、予約優先となっております。特に午前中は込み合いますので、予約のない方や初診の方は、午後からの受診にご協力ください。（午後の受付時間 午後1時から午後3時）

私たちのお仕事紹介

～地域連携室は「患者様を中心に当院、他院・他施設、自宅をつなぐ部署」です。～

今年度より院内に地域連携室を立ち上げ、三町病院統合にあたり入院や通院によって生じる問題や疑問を抱えられている患者様・ご家族様に対して看護師が相談に応じ援助していきます。

★地域連携室の役割＝「コーディネート」

（地域連携室の主な業務内容）

1. 入院予約、転院予約の調整
2. 退院支援・調整（自宅への退院や他病院への転院・施設やホームへの入所相談）
3. 各種社会福祉制度（介護保険・福祉制度・介護サービス等）に関する相談
4. レスパイト入院※・ショートステイの相談
5. 自宅での生活にお困りの方の相談受付

※ 一時的に在宅介護が困難になった場合の入院



病院や診療所、自宅、施設間の連携を担い、退院後の生活について相談を受け、地域の福祉施設・介護サービス事業所と連携し、患者様が自分の病状、日常生活動作に適したサービスを受けることができるように医療機関・介護施設をはじめ行政や福祉に関わる多くの機関とを繋ぐ役割を担っています。

本来であれば看護師、医療ソーシャルワーカー、医療事務職等が配置され多職種がチームとなって連携を図るところですが当院では看護師1名、事務補助者1名にて対応しております。外来看護師、病棟看護師、医師と連携を図り外来状況、入院状況を情報共有し患者様・ご家族様に合った支援を行っております。少しでも気になる事がございましたらご遠慮なく地域連携室へご相談ください。

（地域連携室 吉村慎一郎）

循環器内科 森川 馨 医師をご紹介します



本年4月から、毎週水曜日の診療を担当していただいています。院内での診療のほか、町内各学校の内科検診など地域に出向いての業務にも携わっていただいています。

以下、森川先生からのメッセージです。

4月より毎週水曜日に勤務させて頂いております熊本大学病院 循環器内科の森川馨と申します。循環器内科外来を担当させて頂いております。高血圧、糖尿病、脂質異常症など慢性疾患のコントロールおよび狭心症や心筋梗塞後のフォローアップ等、専門医療機関と連携を取りながら診療を行って参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



へき地診療所管理人のおふたりへ感謝状の贈呈

医療環境の変化、利用者の減少等により令和5年第1回五ヶ瀬町議会定例会において、鞍岡(昭和31年設置)・坂本・桑野内(共に昭和41年設置)診療所の廃止に関する条例が可決され、これまで鞍岡・坂本で診療所の管理をしていたいた興梧弘敏さん(10区)と宮崎男女子さん(1区)に感謝状をお贈りしました。長年にわたり施設の維持をしていただき本当にありがとうございました。



今まで
ありがとう
ございました!



西臼杵3町公立病院の再編・統合 ～地域医療を守るために～

西臼杵3町では、急速な人口減少に伴う社会情勢の変化に対応し、将来の安定した医療体制を維持するための見直しが急務となっていました。同じ課題を共有する郡内の3つの公立病院が連携してこの大きな課題に取り組むことが重要であるとして、平成27年度に「西臼杵の医療のありかた検討会」が設置され議論をスタートさせました。さらに、平成30年度に延岡西臼杵地域医療調整会議内に「西臼杵地域公立病院部会」として位置づけられ、医療・介護を取り巻く内部・外部環境の詳細な分析及び将来予測を経て令和3年度に、①3町公立病院の病床機能の再編、②医師等の人材確保、③経営形態の統合を柱とする基本構想を公表しました。現在は、この構想実現に向けた3町及び3町公立病院間での具体的な検討が進められています。その第一段階として令和5年4月から高千穂町国保病院を急性期主体の病床(120床)に、日之影町国保病院を慢性期主体の病床(50床)に転換しました。五ヶ瀬町国保病院においては令和6年3月までに一般病床36床を32床に、介護療養病床18床を介護医療院(介護保険施設)へ転換する準備を進めています。尚、外来診療及び救急患者等の受入れ態勢はこれまでどおりですのでご安心ください。令和6年4月から3町公立病院は西臼杵地域広域行政事務組合(一部事務組合)へ業務移管されますが、そこには「西臼杵郡の地域医療を長期的に存続させる」という3町共通の目標が掲げられています。この目標達成に向けて引き続き、西臼杵地域における持続的な医療提供体制を維持するための検討を進めてまいります。

(病院事務長 奥村和平)

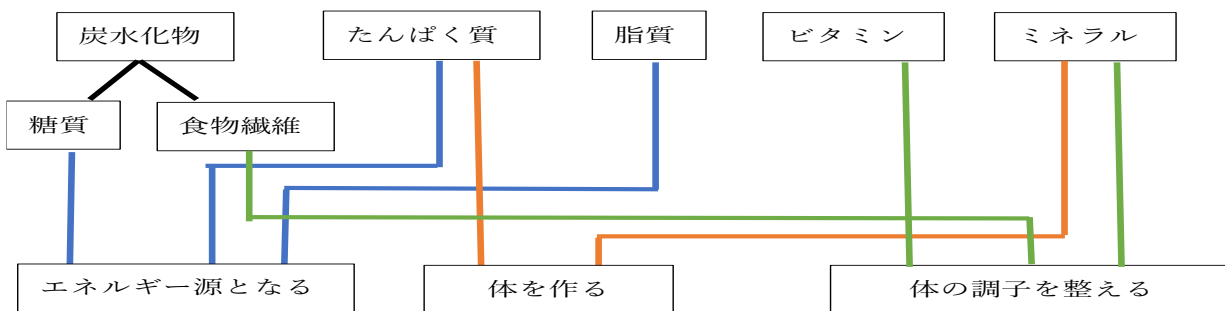


こんにちは！給食室です

(管理栄養士 新田 知穂)

* 『バランスのいい食事って?』

食品中の成分は消化吸収されて初めて栄養素として機能します。栄養素は共同で働いており、どれか1つが欠けても体調不良になるため、栄養素のバランスが大切です。ほとんどの食品は様々な栄養素を含みますが、ひとつで人体に必要な栄養素を全て満たすという食品はありません。いろいろな食品を組み合わせて食べることが大切です。



サプリメントがあればOK?

サプリメントは栄養成分を効率よく摂れて便利ですが、食事を全て置き換えることはできません。食品には様々な栄養素が含まれますが、サプリメントは特定の栄養素しか含まないため、過不足が出てきます。食事が十分に摂れているときはサプリメントは必要ありません。食事がとれにくくなってきたら、かかりつけ医や管理栄養士にご相談ください。

1食に4つのお皿をそろえよう



火災避難訓練

3月3日に火災避難訓練を実施しました。3階給食室からの出火を想定し、初期消火及び3階屋上にて放水訓練、2階病棟の患者さんを搬送する避難訓練を実施しました。



オンライン診療車デモ

4月7日に移動型オンライン診療車によるデモが行われ、多くの職員が見学しました。地域医療だけでなく、走る行政窓口としての可能性も感じることができる体験会でした。

